

山のこだま

創刊号
2009年 7月1日発行
発行責任者 原田高明
Tel 0536-36-0678

桜から始まった花のリレーは、紅岩に咲く岩ツツジで一区切り。すがすがしい新緑の季節も過ぎ、雲の多い季節となりました。ジメジメとした日が続くようになってきましたが、これが過ぎれば“山の家”最高の季節！“夏”を迎えます。

会員の皆様はお元気でしょうか。何かの折には気楽に心身ともリフレッシュも兼ねて、“鳳来 山の家”へお立ち寄りいただければ大歓迎です。

さて、ようやく“山のたより・ペーパー版”を発行することとなりました。大変お待たせして申し訳ありませんでした。年に4回の発行を目指にがんばっていきます。よろしくお願ひいたします。

山の便り・1

1. ホームページ開設

ようやく、ホームページを完成(3/15・試験公開開始)させました
URLは

<http://www.ne.jp/asahi/hourai/yamanoie/> です

写真を多くし、“今”的「鳳来 山の家」をお伝えする予定です。
ぜひともご覧ください

2. “我家 鳳来 山の家”オープンについて

来年(2010年)以降60歳までにはオープンできたらと頑張っていきます

3. 秋の収穫祭について

会員案内で“秋の収穫祭”的開催していましたが、まだパワー不足で今年度は難しいです。オープン後を目指します。

山の便り・2

★ キツネ現る

6月14日キツネが現れました。まだ若いですがやせ細り歩くのもヨタヨタの感じでした。キツネは日本では古来より信仰の対象でした。有害動物というのではなく、人間との関係は深かったと思われます。

しかし、キツネは時には鶏を襲ったり悪さもするようです。一方、野鼠を食べたり、猪の子供(ウリボウ)を食べ必要以上に猪の数が増えるのを押さえたり、人間にとって役にも立つようです。ある国では、野鼠対策にキツネを使っているところもあるようです。よくよく見ると、愛嬌のある顔で親しみやすいですが、寄生虫の問題、糞尿の強い匂いもあり、人間との同居は難しい気もします。

自然の動物との共生。彼らに餌の十分ある地域、環境を保障し人間と一緒にいた状況で共生するのが一番でしょう。豊かな自然は絶対残さなければと思います。



お願い

★e-mailアドレスをお持ちの方は連絡ください

“山のたより”は、メール版とペーパー版を発行する予定です。メール版は4月に第1号を発行し今回は2号となっています。e-mailアドレス(携帯電話除く)をお持ちの方は下記へご連絡いただけます

連絡先e-mail : hourai@home.email.ne.jp

※ このお便りは、鳳来 山の家会員の方でe-mail(携帯除く)登録されていない方に送っています
不要の方、心当たりのない方は担当 原田まで連絡ください

連絡先 0536-36-0678(鳳来 山の家 : 担当 原田)

来 者 女 リ ョ